

# Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	環境園芸学科	
科目名称	農業政策論Ⅱ					授業形態	講義		
科目コード	252800	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	章 大寧							ICT活 用	○
授業概要	<p>農業政策論Ⅱでは、最近注目されている最先端農業技術を駆使した「スマート農業」について検討する。世界的傾向もあり、日本の農業政策としても積極的に推進されているため、受講生の関心度も高い。今日のデジタル技術の進歩は目覚ましく、農業技術の革新を目的とした導入の動きも活発である。スマート農業について本講義でも取り上げることにより、スマート農業の技術体系、可能性と問題点について考察する。</p>								
関連する科目	農業政策論Ⅱ、農業経済学、農産物流通源論、農産物流通論								
授業の方法と進め方	スマート農業に関するテキストをもとに、要点解説、課題報告、質疑応答という形式で進行する。								
授業計画【第1回】	農業政策論Ⅱの講義概要								
授業計画【第2回】	スマート農業とは何か								
授業計画【第3回】	スマート農業を始める 参入モデル								
授業計画【第4回】	スマート農業を始める 農地・技術・資金								
授業計画【第5回】	スマート農業を始める 計画策定・実行								
授業計画【第6回】	スマート農業を始める 成功の要素								
授業計画【第7回】	スマート農業の技術体系 モニタリング技術								
授業計画【第8回】	スマート農業の技術体系 センサー技術								
授業計画【第9回】	スマート農業の技術体系 生産管理技術								
授業計画【第10回】	スマート農業の技術体系 収穫予測技術								
授業計画【第11回】	スマート農業の技術体系 自動運転・作業ロボット								

授業計画【第12回】	スマート農業の技術体系 ドローン・自動給排水・植物工場技術
授業計画【第13回】	スマート農業の今後 農産物流通
授業計画【第14回】	スマート農業の今後 農業政策
授業計画【第15回】	スマート農業の今後 世界の動向
授業の到達目標	スマート農業の概念・導入条件・技術体系を理解する。 スマート農業の可能性と問題点を理解する。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外の学習【予習】	スマート農業・関連事項について事前に調べ要点などを整理する。週2時間程度。
授業時間外の学習【復習】	授業内容・関連事項について宿題を課し、意見発表やレポート提出を求める。週2時間程度。
課題に対するフィードバック	課題報告やレポート提出について丁寧に説明し、質疑応答を通じて理解を深める。
評価方法・基準	課題レポート等 50% 期末試験 50%
テキスト	三輪泰史、日本総合研究所著、「図解よくわかるスマート農業」、日刊工業新聞社。
参考書	「現代の食料・農業・農村を考える」藤田武弘、内藤重之、細野賢治、岸上光克編、ミネルヴァ書房 「新版農業問題入門」田代洋一、大月書店 「食料環境政策学を学ぶ」明治大学農学部食料環境政策学科編、日本経済評論社 「食料・農業・農村白書」(及び同参考統計表)、農林水産省編、農林統計協会 「現代農業政策論」朱宗桓編、ハンウルアカデミ(韓国語) 「現代農業経済学—理論と政策」朴基赫・羅縉洙、博英社(韓国語) 「食と農の環境経済学」宇山満、昭和堂